よみがえる25年前

1988年2,3月

これは今から25年前を記憶や資料をたよりにひも解いてみようとする企画です

◆JOA設立に動き急

O-JAPAN88年3月号は「新組織」について特集が組まれた。O-JAPAN編集者の田口肇さんはまだまだ関心が薄く、多くのオリエンティアは自分たちはただオリエンテーリングが楽しめればいいという感覚なのか、オリエンティア個々もクラブもバラバラの状態であるとの感想を述べている。一方、東海・北陸の協会、委員会からは急きょでてきた50万円という額の入会金にあわてふためきながら、早期設立要望書を設立準備委員会に提出している。また、東京国分寺高校の生徒さんからは中体連・高体連へ参加問題についても内部に専門部会を置くなどして、1日も早く他の運動部ように練習、合宿、大会などに参加できる体制をつくってほしい、またこのことは都道府県協会にも取り組んでほしいとの声が寄せられている。

さらに学連からは正会員として加盟をしたいという文書が出されている。

◆パソコン通信「PC-VAN」での情報交換スタート

筑波大 OL 愛好会の丸山さんが日本電気のパソコン通信ネットワーク「PC-VAN」にオリエンテーリングのコーナーを開設した。パソコン通信はオリエンテーリング界の情報交換に画期的なことで、筆者もワープロながらPC－VANに登録した記憶がある。

パソコン通信の先駆けとなったPC-VANもその後、後継のbiglobeに移行し、2001年4月で終了した。

◆O-JAPANモデルチェンジ前の最終号

88年3月10日発行の54号を最後にA6版からB5にサイズが変更される。

◆増えるスキー人口、負けずにスキーO

北海道では年毎に増えるスキー人口に航空会社のスキーツアが加わり、ゲレンデスキーは花盛り。一方、冬の体力づくりを目指す歩くスキーも幅広い年齢層に人気があり、西岡オリンピックコース、冬季休業中のゴルフ場、国営すずらん丘陵公園などゲレンデ数も増加しているが、同じ日に2，3の大会が開催される状況になってきた。また、身障者歩くスキーも行われるようになった。今大会の野幌森林公園ではクロスカントリーレースと重なり、後援の江別市教育委員会はクロスカントリーレースを午後にしてくださった。

2月11日に開催した札幌ＯＬＣのスキーO大会は札幌ＯＬＣが北海道で初めてスキーOを行ってから14年、大会としては5回目となる。Aクラス25名など総勢49名の参加があった。上位3名は札幌近郊の方で占められ、当時の地元との関係の深さが感じられる。

2月28日には北海道の広島町OL協会によってスキーO大会が開催された。

◆87年度最後のビッグ大会　インカレ

全日本大会が開催地の気候を考慮し88年4月に開催されるため、第10回学生選手権大会が87年度を締める大会となった。

大会の様子は新装なった、O-JAPAN第55号で伝えられた。

群馬県安中市などで開催され、1300名あまりの参加があった。個人では、男子（HE）は千葉大の香取さん、女子（DE）は筑波大の深田さんが優勝。リレーは男子4名でリレーし東北大、女子は3名でリレーし、お茶の水大が優勝した。

時の話題

2月1日日本相撲協会6代目の理事長に二子山勝治（初代若乃花）氏就任

2月13日カルガリー冬季オリンピック開幕。日本は黒岩彰のスピードスケート500mで銅メダル。現参議院議員の橋本聖子がスピードスケート500mで5位。フィギアで伊藤みどりが5位

2月22日陸上の新谷仁美誕生

3月13日青函トンネル開通し、JR海峡線が運転開始。青函連絡船80年の歴史に幕。

3月17日東京ドーム完成

3月24日上海で列車事故。高知県の修学旅行中の高校生と教師28名が死亡。